

令和 2 年度 指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
数 学	数学Ⅰ	3	2	特にありません

使用教科書	副読本等
「新 高校の数学Ⅰ」（数研出版）	「新高校の数学対応 教科書学習ノート数学Ⅰ」（数研出版）

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
必要があればその都度連絡します		○				○		

1. 担当者からのメッセージ（学習方法等）

1年生で学びなおした知識を活かし、数学Ⅰを学習する。計算方法を理解し、様々な問題できちんと使うことが出来るようになることが目的です。数学に対しての苦手意識をもっている生徒や、説明を長く聞くことが出来ない生徒が多いのが本校の特徴です。習熟度別にクラスを分けて、生徒の実力を見極めたうえで各クラスにあった授業を展開し生徒の実力を伸ばしていく。

2. 学習の到達目標

2次関数及び三角比、データ分析等について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を目指す。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：数学的な見方や考え方	c：数学的な技能	d：知識・理解
観 点 の 趣 旨	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	授業に対する態度や提出物の状況によって評価する。	提出物に関して、毎回の授業で集めチェックしている。	定期考査を通し判断する。また授業に復習の計算を入れることでも評価する。	毎回の授業で集める提出物 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	数と式の計算	多項式の計算 展開 因数分解	○ ○ ○	 ○ ○	 ○	 ○ ○	a: 様々な計算問題に関心を持ち、意欲的に探求しようとする。 b: 展開と因数分解を関係付けて考察し、答えを導き出すことができる。 c: たすきがけなどの技能も修得し、求めることができる。 d: 公式を理解し、素早く問題を解くことができる。	定期考査 提出物 授業態度 出席状況
5月 下旬 ～ 7月	1次不等式 2次関数	方程式と不等式 $y=ax^2+q$ のグラフ $y=a(x-p)^2$ のグラフ $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	a: 2次関数とそのグラフについて感心をもち、それらを2次関数の考察に活用しようとしている。 b: 2次関数の式とグラフを関係付けて考察することができる。 c: 様々な2次関数の式とグラフの位置関係を調べることが出来る。 d: 2次関数の式やグラフの特徴について理解している。	定期考査 提出物 授業態度 出席状況
8月 下旬 ～ 10月 月上旬	2次関数	$y=ax^2+bx+c$ のグラフ 2次関数の最大最小 2次方程式 2次不等式	 ○ ○	○ ○ 	○ ○ 	 ○ ○	a: 2次方程式、2次不等式に関心を持ち、解を求めることができる。 b: 平方完成を用い式を変形することができる。 c: 様々な2次関数のグラフを変形し頂点や軸、最大や最小値を見極めることができる。 d: 2次方程式と2次不等式の関係について理解している。	定期考査 提出物 授業態度 出席状況
10月 中旬 ～ 12月	図形と計量	三角比	○	○	○	○	a: 鋭角の三角比に関心を持ち、それらを直角三角形の計量に活用しようとしている。 b: 図形の相似の考え方をを用いて、直角三角形の辺の比を角との関係で捉えることができる。 c: 直角三角形を用いて考えられる計量の問題を、三角比の記号を用いて表現し処理できる。 d: 正弦、余弦、正接を直角三角形の辺の比と角の関係として理解している。	定期考査 提出物 授業態度 出席状況
1月 ～ 2月	図形と計量 データ分析	三角比の応用 データ分析	○ 	○ 	 ○ 	 ○ 	a: 鈍角まで拡張した三角比について考察することができる。 b: 正弦定理、余弦定理、三角形の面積を公式を用い求めることができる。 c: 平均値、中央値について理解し、データの分析に活用できる d: 分散、標準偏差について理解、相関係数についても理解し、データ分析に活用する。	定期考査 提出物 授業態度 出席状況